

総合目標値：成人の週1回以上のスポーツ実施率(目標：65.0%程度 R7実績：43.1% 全国R7実績51.7%) 計画期間：2022(令和4)年6月～2027(令和9)年3月【5年間】

1 基本目標 スポーツを「する」 スポーツ人口の拡大

成果目標：市民スポーツフェスティバルの参加者数(目標：2,000人 R7実績：641人(受付1,008人))※雨天中止

【施策1】生涯スポーツの普及と推進

ライフスタイルに応じたスポーツ活動を推進し、心身の健康増進を図る

①子どものスポーツ活動

評価A：達成できた(90%以上)
 評価B：ほぼ達成できた(60%～90%未満)
 評価C：あまり達成できなかった(30%～60%未満)
 評価D：達成できなかった(0%～30%未満)
 評価E：その他(特別な事由により実施見合わせ・困難)

通番	事業名/概要	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A～E)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
1	スポーツ少年団運営事業 (青少年スポーツ活動育成事業) 【概要】 少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさに触れることで、スポーツ活動を通じた子どもたちの健全育成を図ります。	スポーツ少年団 スポーツ振興課	少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさに触れることで、スポーツ活動を通じた子どもたちの健全育成を図る。 【スポーツ少年団】 ・各単位団における日々のスポーツ活動(34団・710人) ・本部長杯種目大会の開催(3回・500人) ・駅伝大会やスポ少大会などの合同大会の開催(3回 800人) ・県、東海大会への参加(7回) ・加入案内パンフレットの作成(4,000部) ・団活動をしていない子どもも参加できる事業の検討・実施(1事業) 【スポーツ振興課】 ・スタートコーチ情報提供及び養成講習会の開催(4回) ・人権(ハラスメント)講習会の開催(1回)	【スポーツ少年団】 体力向上や単位団同士の交流、スポーツをするきっかけが提供できる。 【スポーツ振興課】 指導者の資質の向上を図り、指導力の強化が行える	【スポーツ少年団】 ・単位団数(31団・団員数707人) ・本部長杯種目別大会の開催(3回：369人) 軟式野球(6回：111人) サッカー(9回：139人) バレーボール(中学4回：29人・小学8回：90人) ・合同大会の開催(3回：803人) スポ少大会(18回：223人) 駅伝大会(23回：470人) 交流会(10回：110人) ・県、東海大会への参加(12回) ・加入案内パンフレットの作成(4,000部) ・団活動をしていない子供たちも参加できる事業(1事業) 【スポーツ振興課】 ・スタートコーチ情報提供及び養成講習会の開催(5回) ・人権講習会の開催(1回)	B		【スポーツ少年団】 団数が33団から31団へ減ったが、団員数は少し増加した。スポーツ少年団活動に興味、関心をもってもらえる取り組みを引き続き推進するとともに、定住自立圏内への参加を呼びかける。また、子どもたちのスポーツをするきっかけづくりとして、団活動をしていない子どもも参加できるような事業を継続して検討する。 【スポーツ振興課】 指導者の資質向上のため、研修会等を継続して開催する。	【スポーツ少年団】 少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさに触れることで、スポーツ活動を通じた子どもたちの健全育成を図る。 【スポーツ少年団】 ・各単位団における日々のスポーツ活動(32団・730人) ・本部長杯種目大会の開催(3回・500人) ・駅伝大会やスポ少大会などの合同大会の開催(3回 800人) ・県、東海大会への参加(10回) ・加入案内パンフレットの作成(4,000部) ・団活動をしていない子どもも参加できる事業の検討・実施(1事業) 【スポーツ振興課】 ・スタートコーチ情報提供及び養成講習会の開催(5回) ・人権(ハラスメント)講習会の開催(1回)
2	総合型地域スポーツクラブの運営 (スポーツ教室開催事業) (クラブ運営への助言) 【概要】 地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催します。	総合型地域 スポーツクラブ スポーツ振興課	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催する。 【総合型地域スポーツクラブ】 ・各クラブでの教室開催(6団体 延べ3,000人) ・ブロック別ミーティングへの参加(10人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加(10人) ・クラブ協議会の開催(3回) ・クラブ認知度の向上のためのインセティブの検討 ・新規クラブ発足に向けた取組の検討	【総合型地域スポーツクラブ】 地域の身近な環境でスポーツを実施できる。 【スポーツ振興課】 訪問を通じて県内の他クラブの運営ノウハウなどを提供し、クラブ運営の強化を図る。	【総合型地域スポーツクラブ】 ・教室開催(6団体：延べ3,939人) 神戸(3B体操スロートレーニング教室 19回・延べ229人) フューチャーズ(ノルディックウォーキング20回・延べ235人) (ノルディックウォーキング体験会2回・52人) 府中(健康体操・3B体操 143回・延べ2,270人) 大山田(親子カヌー教室 1回・延べ28人) ヨガセラピー教室 11回・延べ517人 姿勢改善エクササイズ教室 4回・延べ84人 ピラティス教室 4回・延べ76人) どんぐり(ダンス&ダブルタッチ 36回・延べ216人) いがまち(スロートレーニング 36回・延べ232人) ・ブロック別ミーティングへの参加(5人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(3団体・年1回) ・連絡協議会の開催(2回/年) ・各団体のスポーツ教室を市HPで紹介	A		【総合型地域スポーツクラブ】 クラブの認知度向上を図り、活動への参加者を増やす。また運営を行うスタッフが不足しているクラブが多いことから指導者の育成等を行い、組織の強化を図る。 【スポーツ振興課】 クラブの認知度を高めるため、継続した情報発信の強化や、他地域のクラブの運営ノウハウを情報提供するなど、各クラブの適切な運営に努める。また、新規クラブの発足に向けた取組を検討する。	【総合型地域スポーツクラブ】 地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催する。 【総合型地域スポーツクラブ】 ・各クラブでの教室開催(6団体 延べ4,000人) ・ブロック別ミーティングへの参加(7人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加(7人) ・クラブ協議会の開催(3回) ・クラブ認知度の向上のためのインセティブの検討 ・新規クラブ発足に向けた取組の検討
3	B&G海洋センター活用事業 (スポーツ振興事業) 【概要】 B&G海洋センターを活用した事業を行います	スポーツ振興課 三重県B&G連絡協議会 指定管理者(伊賀市文化都市協会)	B&G海洋センターを活用し、B&G指導員を核として、プールや艇庫などの既存施設を活用した参画型の事業を開催する。 ・BG塾(40人) ・水辺の安全教室(250人) ・その他各種事業	普段体験できない遊びを通じて、参加者間の仲間づくりや、体力の向上を図る。	・BG塾 20人【阿山・大山田】 (シャワークライミング・サップ・カヌー体験・モルック体験・ライフジャケット作り等) ・水辺の安全教室 132人 久米小(13人)・成和西小(1校18人)・梅が丘小(101人) ・オリパラ写真展(8/29～9/14) ・指導者研修会・剣道大会・水泳大会(県連絡協議会事業)	B		施設機能を活用した自主事業の拡充を図る。水辺の安全教室の周知を強化する。	B&G海洋センターを活用し、B&G指導員を核として、プールや艇庫などの既存施設を活用した参画型の事業を開催する。 ・BG塾(40人) ・水辺の安全教室(200人) ・その他各種事業
4	レクリエーションスポーツの普及 (スポーツ推進委員活動事業) スポーツ教室開催事業 (レクリエーション協会) 【概要】 レクリエーション協会などと連携し、子どもが気軽に参加でき、家庭で楽しめるレクリエーションの普及を行います。	スポーツ推進委員 住民自治協議会 スポーツ振興課 レクリエーション協会	レクリエーション協会などと連携し、子どもが気軽に参加でき、家庭で楽しめるレクリエーションの普及を行う。 【スポーツ推進委員活動事業】 ・自治協議会のスポーツ部会等への参画 ・地域行事での実技指導(派遣事業)(25回/年 50人) ・実技研修会の開催(3回/年) ・三重県及び市主催の実技、リーダー研修会(参加者数：20人) ・レクリエーション協会などと共同した体験会の開催(2回) 【スポーツ教室開催事業】(レクリエーション協会) ・ニュースポーツ講習会(3回) ・県スポーツフェスティバルへの参画(1回) ・県レクリエーションインストラクター養成講座への参加(1回)	【スポーツ推進委員活動事業】 身近な環境で気軽にスポーツを楽しめる環境を提供できる 【スポーツ教室開催事業】 気軽にレクリエーション種目を楽しむことができる。	【スポーツ推進委員活動事業】 ・地域行事での実技指導(派遣事業)(37回 派遣人数74人) ・実技研修会への参加(3回/年・50人) (ビーチボールバレー・ポッチャ、モルック・カローリング、ボルダータクティク) ・【県】実技、リーダー研修会への参加(15人) ・レクリエーション協会連携事業の開催(1回)(モルック) 【スポーツ教室開催事業】(レクリエーション協会) ・ニュースポーツ講習会 ポッチャ教室(6月・9月・3月) モルック(12月) SSピンポン教室(3月) ・第1回忍ninモルック伊賀大会開催(3月) 共催：布引モルック愛好会すまいる ・県スポーツフェスティバルへの参画 ウォークラリー(11月) ・福祉レク 導入時の手遊び・ゲームセミナー(7月)	A		派遣事業の充実を図り、情報発信を強化する。また、様々な種目に対応できるように、実技研修会等を実施し、各委員のスキルの向上を図る。 スポーツ推進委員の活動や認知度向上のため、継続した情報発信を行う。 障がいのある人を対象にニュースポーツ教室に実施。	レクリエーション協会などと連携し、子どもが気軽に参加でき、家庭で楽しめるレクリエーションの普及を行う。 【スポーツ推進委員活動事業】 ・自治協議会のスポーツ部会等への参画 ・地域行事での実技指導(派遣事業)(40回/年・80人) ・実技研修会の開催(3回/年) ・三重県主催の実技研修会、リーダー研修会(参加者数：20人) ・レクリエーション協会などと連携した体験会の開催(2回) 【スポーツ教室開催事業】(レクリエーション協会) ・ニュースポーツ講習会(3回) ・県スポーツフェスティバルへの参画(1回) ・県レクリエーション協会関連事業の開催(1回以上)

②成人のスポーツ活動

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A～G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
5	健康マイレージの普及 【概要】 1日1回体操をする、1日6,000歩を歩く等、自分で決めた目標達成に応じてポイントを付与し、スポーツ実施へのインセンティブを図ります。	健康推進課	市民が主体的に健康づくりを行うことで、健康の保持増進を図ることを目的に、1日1回体操をする、1日6,000歩を歩く等、自分で決めた目標達成するとポイントを付与し、健康づくりや運動習慣へのインセンティブを図る。 ・応募実人数:400人	健康マイレージ事業をきっかけに、運動や健康づくりの習慣が身につく。	健康マイレージ事業の参加により、運動習慣等健康づくりの習慣が身につくようになってきました。 ・応募実人数: 376人	A		継続して健康づくりに取り組んでもらえるよう対象者に向け事業周知が徹底し、応募人数を増やす。	市民が主体的に健康づくりを行うことで、健康の保持増進を図ることを目的に、1日1回体操をする、1日6,000歩を歩く等、自分で決めた目標達成するとポイントを付与し、健康づくりや運動習慣へのインセンティブを図る。 ・応募実人数:400人
6	健康づくり教室 【概要】 健康増進法に基づくメタボ予防などを目的にストレッチ体操など楽しみながら講座を行います。	健康推進課	健康増進法に基づくメタボ予防などを目的としたストレッチ体操などを出前講座に取り入れ自宅でも継続できるよう実施する。また、保健師やまちの講師が、行政チャンネルを利用した自宅できる健康づくりを呼びかける。 ・出前講座回数:40回 ・まちの講師:30回 ・ウィークリー特集:3回	いが忍にん健康プロジェクトを活用し、自宅で運動など健康づくりに取り組める。また、出前講座では仲間と健康づくりを楽しむことができる。	各団体からの申請が増え、出前講座やまちの講師による出前講座の回数が増えました。 ・出前講座回数: 31回 ・まちの講師: 13回 ・ウィークリー特集:3回	B		健康測定器具の貸出をすることで、地域の健康づくりネットワークを強化し、継続的な取り組みにつなげます。	住民自治協議会の健康づくり担当者が各地域で主体的に健康増進事業を実施できるよう支援する。 ・実際に健康測定を体験することで、参加者が自らの健康状態を振り返り、生活習慣改善や運動への意欲を高める。 ・健康測定機器貸出数 20回
7	【再掲】 総合型地域スポーツクラブの運営 (スポーツ教室開催事業) (クラブ運営への助言) 【概要】 地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催します。	総合型地域スポーツクラブ スポーツ振興課	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催する。 【総合型地域スポーツクラブ】 ・各クラブでの教室開催(6団体 延べ3,000人) ・ブロック別ミーティングへの参加(10人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加(10人) ・クラブ協議会の開催(3回) ・クラブ認知度の向上のためのインセティブの検討 ・新規クラブ発足に向けた取組の検討	【総合型地域スポーツクラブ】 地域の身近な環境でスポーツを実施できる。 【スポーツ振興課】 訪問を通じて県内の他クラブの運営ノウハウなどを提供し、クラブ運営の強化を図る。	【総合型地域スポーツクラブ】 ・教室開催(6団体: 延べ3,939人) 神戸(3B体操スロートレーニング教室 19回・延べ229人) 神戸(3B体操スロートレーニング教室 19回・延べ229人) フューチャーズ(ノルディックウォーキング20回・延べ235人) (ノルディックウォーキング体験会2回・52人) 府中(健康体操・3B体操 143回・延べ2,270人) 大山田(親子カヌー教室 1回・延べ28人) ヨガセラピー教室 11回・延べ517人 姿勢改善エクササイズ教室 4回・延べ84人 ピラティス教室 4回・延べ76人) どんぐり(ダンス&ダブルタッチ 36回・延べ216人) いがまち(スロートレーニング 36回・延べ232人) ・ブロック別ミーティングへの参加(5人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(3団体・年1回) ・連絡協議会の開催(2回/年) ・各団体のスポーツ教室を市HPで紹介	A		【総合型地域スポーツクラブ】 クラブの認知度向上を図り、活動への参加者を増やす。 また運営を行うスタッフが不足しているクラブが多いことから指導者の育成等を行い、組織の強化を図る。 【スポーツ振興課】 クラブの認知度を高めるため、継続した情報発信の強化や、他地域のクラブの運営ノウハウを情報提供するなど、各クラブの適切な運営に努める。 また、新規クラブの発足に向けた取組を検討する。	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催する。 【総合型地域スポーツクラブ】 ・各クラブでの教室開催(6団体 延べ4,000人) ・ブロック別ミーティングへの参加(7人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加(7人) ・クラブ協議会の開催(3回) ・クラブ認知度の向上のためのインセティブの検討 ・新規クラブ発足に向けた取組の検討

③高齢者のスポーツ活動

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A~G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
8	介護予防普及啓発事業 【概要】 3B体操などを活用し、体を動かすことで要介護状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活を送れるようになります。	介護高齢福祉課 (社会福祉協議会へ委託)	体を動かす運動を取り入れることで、要介護状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活を送れるよう、認知症・介護予防教室へ講師を派遣し、音楽療法や3B体操などを活用した運動を推進する。 ・認知症・介護予防教室(派遣型) 開催回数:710回 参加延べ人数:10000人	教室へ参加することで、社会的孤立を防ぐこと、さらに体を動かすことで運動機能の低下を予防することができる。	各団体からの申請により、公民館や集会所などに講師を派遣して開催。 ・音楽療法,3B体操教室 開催回数:633回 参加延べ人数:8629人	B		利用者を減少させないよう、委託事業者の支援を継続する。委託事業者と連携し、高齢者の参加につながる教室開催についてPR方法を検討する。	体を動かす運動を取り入れることで、要介護状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活を送れるよう、認知症・介護予防教室へ講師を派遣し、音楽療法や3B体操などを活用した運動を推進する。 ・認知症・介護予防教室(派遣型) 開催回数:650回 参加延べ人数:9000人
9	講座や教室の開催 【概要】 関係団体と連携し、新しい軽スポーツ等を体験できる場の提供など、市民が新しい楽しみを見つけられる教室を開設します。	介護高齢福祉課 伊賀市文化都市協会	【介護高齢福祉課】 教室へ参加することで、社会的孤立を防ぐこと、さらに体を動かすことで運動機能の低下に繋げる。 ・認知症・介護予防教室(教室型) 開催回数:60回 参加のべ人数:950人 【伊賀市文化都市協会】 スポーツ施設を活用した自主事業の開催 ・グラウンドゴルフ大会 参加延べ人数 1,800人 ・フィットネス教室:9種目 参加延べ人数 8,000人 ・ノルディックウォーキング 参加者数 30人 ・親子遊び体操 参加延べ人数 350人	【介護高齢福祉課・生涯学習課】 教室へ参加することで、社会的孤立を防ぐこと、さらに体を動かすことで運動機能の低下を予防することができる。 【伊賀市文化都市協会】 スポーツを身近に楽しむことで生涯にわたり体を動かすきっかけが図れる。	【介護高齢福祉課】 ・介護予防教室 開催回数:58回 参加延べ人数:1073人 【伊賀市文化都市協会】 スポーツ施設を活用した自主事業の開催 ・グラウンドゴルフ大会 参加延べ人数 1,647人 ・フィットネス教室:11種目 参加延べ人数 8,130人 ・ノルディックウォーキング 参加者数 47人 ・親子遊び体操 参加延べ人数 682人	A	【介護高齢福祉課】 希望者が参加しやすい教室を開催するため、関係機関と連携し開催場所や方法を検討する。 【伊賀市文化都市協会】 引き続き、伊賀市スポーツ施設を活用した自主事業の開催に努める。	【介護高齢福祉課】 教室へ参加することで、社会的孤立を防ぐこと、さらに体を動かすことで運動機能の低下に繋げる。 ・認知症・介護予防教室(教室型) 開催回数:60回 参加のべ人数:1000人 【伊賀市文化都市協会】 スポーツ施設を活用した自主事業の開催 ・グラウンドゴルフ大会 参加延べ人数 1,700人 ・フィットネス教室:9種目 参加延べ人数 8,200人 ・ノルディックウォーキング 参加者数 50人 ・親子遊び体操 参加延べ人数 600人	
10	【再掲】 総合型地域スポーツクラブの運営 (スポーツ教室開催事業) (クラブ運営への助言) 【概要】 地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催します。	総合型地域スポーツクラブ スポーツ振興課	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催する。 【総合型地域スポーツクラブ】 地域の身近な環境でスポーツを実施できる。 【スポーツ振興課】 訪問を通じて県内の他クラブの運営ノウハウを提供し、クラブ運営の強化を図る。	【総合型地域スポーツクラブ】 地域の身近な環境でスポーツを実施できる。 【スポーツ振興課】 訪問を通じて県内の他クラブの運営ノウハウを提供し、クラブ運営の強化を図る。	【総合型地域スポーツクラブ】 ・教室開催(6団体:延べ3,939人) 神戸(3B体操スロートレーニング教室 19回・延べ229人) フューチャーズ(ノルディックウォーキング20回・延べ235人) (ノルディックウォーキング体験会2回・52人) 府中(健康体操・3B体操 143回・延べ2,270人) 大山田(親子カヌー教室 1回・延べ28人) ヨガセラピー教室 11回・延べ517人 姿勢改善エクササイズ教室 4回・延べ84人 ピラティス教室 4回・延べ76人) どんぐり(ダンス&ダブルタッチ 36回・延べ216人) いがまち(スロートレーニング 36回・延べ232人) ・ブロック別ミーティングへの参加(5人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(3団体・年1回) ・連絡協議会の開催(2回/年) ・各団体のスポーツ教室を市HPで紹介	A	【総合型地域スポーツクラブ】 クラブの認知度向上を図り、活動への参加者を増やす。また運営を行うスタッフが不足しているクラブが多いことから指導者の育成等を行い、組織の強化を図る。 【スポーツ振興課】 クラブの認知度を高めるため、継続した情報発信の強化や、他地域のクラブの運営ノウハウを情報提供するなど、各クラブの適切な運営に努める。また、新規クラブの発足に向けた取組を検討する。	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催する。 【総合型地域スポーツクラブ】 ・各クラブでの教室開催(6団体 延べ4,000人) ・ブロック別ミーティングへの参加(7人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加(7人) ・クラブ協議会の開催(3回) ・クラブ認知度の向上のためのインセンティブの検討 ・新規クラブ発足に向けた取組の検討	
11	【再掲】 健康マイレージの普及 【概要】 1日1回体操をする、1日6,000歩を歩く等、自分で決めた目標達成に応じてポイントを付与し、スポーツ実施へのインセンティブを図ります。	健康推進課	市民が主体的に健康づくりを行うことで、健康の保持増進を図ることを目的に、1日1回体操をする、1日6,000歩を歩く等、自分で決めた目標達成するとポイントを付与し、健康づくりや運動習慣へのインセンティブを図る。 ・応募実人数:400人	健康マイレージ事業をきっかけに、運動や健康づくりの習慣が身につく。	健康マイレージ事業の参加により、運動習慣等健康づくりの習慣が身につく。 ・応募実人数:376人	A	継続して健康づくりに取り組んでもらえるよう対象者に向け事業周知が徹底し、応募人数を増やす。	市民が主体的に健康づくりを行うことで、健康の保持増進を図ることを目的に、1日1回体操をする、1日6,000歩を歩く等、自分で決めた目標達成するとポイントを付与し、健康づくりや運動習慣へのインセンティブを図る。 ・応募実人数:400人	
12	忍にん体操の普及 【概要】 忍にん体操普及会と連携し、普及・啓発を行います。	健康推進課	忍にん体操普及会と連携し、普及・啓発を行う。 出前講座:10回・延べ400人参加	出前講座等の機会を通じ、忍にん体操で、楽しみながら体を動かす習慣が身につく。	各団体からの忍にん体操普及会への申請が増え、忍にん体操を広めることができました。 ・出前講座 8回・延べ395人参加	B	忍にん体操を広めることで、運動習慣を身につくようする必要があります。	忍にん体操普及会と連携し、普及・啓発を行う。 出前講座:10回・延べ400人参加	

④障がい者のスポーツ活動

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A～G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
13	パラスポーツの普及 【概要】 「ポッチャ」など、ユニバーサルスポーツの体験・競技会をとおして広く市民へ普及・啓発を行います。	障がい福祉課 スポーツ振興課 レクリエーション協会	令和7年度 取組計画・目標数値(方針) 【障がい福祉課】 ・県等からの情報提供回数:15回 【スポーツ振興課・レクリエーション協会】 ・三重県レクリエーション協会と連携した事業の実施 2回 ・市の行事等に対する協力 3事業	【障がい福祉課】 障がいのある人のスポーツの参加機会の提供や、障がいのあるなしに関わらず、パラスポーツへの理解を深める 【スポーツ振興課・レクリエーション協会】 広く市民がレクリエーションに親むことができる。	【障がい福祉課】 ・関係団体等への情報提供(14回) ・窓口へのチラシ設置 【スポーツ振興課・レクリエーション協会】 ・三重県レクリエーション協会連携事業(1回) 福祉レク 導入時の手遊び・ゲームセミナー ・市の行事等に対する協力 3事業	A		【障がい福祉課】 障がいのあるなしに関わらず、パラスポーツへの理解を深めるため、市民及び関係団体への情報提供や周知、啓発を行う必要がある。 【スポーツ振興課・レクリエーション協会】 ポッチャ教室等のスポーツ教室を実施。また定期的にウオーキング事業を実施。今後も継続した事業として実施する。	障がい者やパラスポーツへの理解を深めるため、県や関係団体等からのパラスポーツ開催について、周知啓発を行うとともに、「ポッチャ」など、ユニバーサルスポーツの体験・競技会をとおして広く市民へ普及・啓発を行う。 【障がい福祉課】 ・県等からの情報提供回数:15回 【スポーツ振興課・レクリエーション協会】 ・三重県レクリエーション協会と連携した事業の実施 2回 ・市の行事等に対する協力 3事業
14	障がい者スポーツ大会への支援 【概要】 障がいのある人が主体的に社会参加活動に取り組めるよう、スポーツ大会への支援を行います。	障がい福祉課	障がい者スポーツ大会への支援 障がい者スポーツ大会の参加者数:400人	スポーツなどの様々な機会に親むことができるよう、障がいのある人が主体的に参加できる機会の充実を図る。	障がい者スポーツ大会:令和7年10月14日(土)実施 参加者数 :354人	B		障がい者団体の活動に対する支援を行うとともに、障がい者スポーツ大会の開催に向けて、障がい者団体が関係団体と連携を図る必要がある。	障がいのある人が社会参加活動の一環として主体的に取り組む活動を支援するため、障がい者団体活動の「障がい者スポーツ大会」に対し支援を行う。 ・障がい者スポーツ大会の参加者数:400人

【施策2】子どもの体力向上

体力向上とスポーツが好きになれる取組みの推進

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A～G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
15	保育所(園)・幼稚園での「からだそだて」の実施 【概要】 発達に合った運動遊びを取り入れた「にんにんタイム」を実施し、子どもたちの体力向上や基礎的な運動能力を高めます。	保育幼稚園課 学校教育課	発達に合った運動遊びを取り入れた「にんにんタイム」を実施し、子どもたちの体力向上や基礎的な運動能力を高めます。 【保育幼稚園課】 幼稚園・保育所(園)において「にんにんタイム」を設定し、発達段階に合わせた運動遊びを実践する。 【学校教育課】 子どもたちの体力向上のため、ルールを工夫した鬼ごっこやけんけん、雨の日には屋内でハイハイをするなど、楽しく体を動かすことのできるトレーニング(「にんにんタイム」)を継続的に行う。 ・「にんにんタイム」の毎日実施(年間登園数:約180回)年間登園数:約180回)	【保育幼稚園課】 子どもたちの体力向上や基礎的な運動能力を高めることができる。 【学校教育課】 引き続き「にんにんタイム」を行い、子どもたちの体力や基礎的な運動能力の向上に努める必要がある。	【保育幼稚園課】 幼稚園・保育所(園)において「にんにんタイム」を設定し、発達段階に合わせた運動遊びを日々の保育に取り入れ、基礎的な運動能力を高めることへとつなげた。 【学校教育課】 毎日(雨天でも)年少児20分、年中児30分、年長児40分の運動遊び「にんにんタイム」を行った。継続することで、運動能力が向上した。 年間登園数(約180回)	A		【保育幼稚園課】 低年齢児からの、子どもの発達を踏まえ、からだしっかり使ったあそびを楽しく取り組める工夫をする。 【学校教育課】 運動の中に、思考力・判断力・表現力の育成ができるよう工夫が必要である。安全に考慮しつつ、幼児が主体性をもって挑戦できるような環境をつくって継続していく。	発達に合った運動遊びを取り入れた「にんにんタイム」を実施し、子どもたちの体力向上や基礎的な運動能力を高めます。 【保育幼稚園課】 幼稚園・保育所(園)において「にんにんタイム」を設定し、発達段階に合わせた運動遊びを実践する。 【学校教育課】 子どもたちの体力向上のため、ルールを工夫した鬼ごっこやけんけん、雨の日には屋内でハイハイをするなど、楽しく体を動かすことのできるトレーニング(「にんにんタイム」)を継続的に行う。 ・「にんにんタイム」の毎日実施(年間登園数:約180回)年間登園数:約180回)
16	学校体育カリキュラムの実施 【概要】 体育授業、運動会などの機会を通して、子どもの体力向上やスポーツ好きの子どもが増えるよう図ります。	学校教育課	体育授業や運動会などの機会を通して、子どもの体力向上やスポーツ好きの子どもが増えるよう図るとともに、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によって明らかになった自校の課題解決のため、体育の授業改善や運動の日常化・運動時間の確保をめざした取組(1学校1運動)を行う。 1学校1運動を設定した学校:28校	1学校1運動に取り組み、子どもたちの体力向上やスポーツ好きの子どもが増えるよう図る。	1学校1運動を設定した学校(28校) 全ての小中学校において、1学校1運動を設定し運動の日常化及び運動時間の確保に取り組むことができた。	A		全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し作成した「元気アップシート」をもとに、今後も、子どもたちの体力向上を図り、スポーツ好きの子どもが増えるよう取り組む。	体育授業や運動会などの機会を通して、子どもの体力向上やスポーツ好きの子どもが増えるよう図るとともに、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によって明らかになった自校の課題解決のため、体育の授業改善や運動の日常化・運動時間の確保をめざした取組(1学校1運動)を行う。 1学校1運動を設定した学校:28校
17	課外体育(クラブ活動)での専門講師の活用 【概要】 部活動の指導について部活動指導員を配置するなど体力・競技力の向上を図ります。	学校教育課	中学校の運動部活動の指導について、体力・競技力の向上を図るため、経験と知見を有した部活動指導員を配置する。(部活動指導員配置促進事業) 部活動指導員配置人数:10人	地域の指導者の確保に努め、より充実した活動となるよう図る。	部活動指導員配置人数(9人) 体力・競技力の向上に努めることができた。	A		引き続き、地域の指導者の確保に努め、生徒のスポーツに親しむ機会を確保していく。	中学校の運動部活動の指導について、体力・競技力の向上を図るため、経験と知見を有した部活動指導員を配置する。(部活動指導員配置促進事業) 部活動指導員配置人数:9人
18	体力・運動能力等の調査 【概要】 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告」を活用し、子どもの体力や運動能力を把握するとともに、課題に向けた取組の検証を行います。	学校教育課	小学校5年生、中学校2年生を対象に実施した調査の報告書をもとに、各校で子どもの体力や運動能力、運動習慣等について分析を行い、「元気アップシート」を作成し、学校内で共有を図る。また、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告」を活用し、子どもの体力や運動能力を把握するとともに、課題に向けた取組の検証を行う。 調査実施対象児童生徒数 小学校631人・中学校685人 全国体力、運動能力、運動習慣等調査における体力合計点全国比 小学校98%・中学校98%	子どもたちの体力や運動能力の向上、運動習慣等の確立を図る。	・調査実施児童生徒数(小学校 561人 中学校 595人) ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国比 小学校 99.5% 中学校 94.7%	A		全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し作成した「元気アップシート」をもとに、今後も、子どもたちのより一層の体力向上を図り、スポーツ好きの子どもが増えるよう取り組む。	小学校5年生、中学校2年生を対象に実施した調査の報告書をもとに、各校で子どもの体力や運動能力、運動習慣等について分析を行い、「元気アップシート」を作成し、学校内で共有を図る。また、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告」を活用し、子どもの体力や運動能力を把握するとともに、課題に向けた取組の検証を行う。 調査実施対象児童生徒数 小学校615人・中学校654人 全国体力、運動能力、運動習慣等調査における体力合計点全国比 小学校98%・中学校98%

19	ACP(アクティブチャイルドプログラム)活動 【概要】 楽しみながら積極的に体を動かし身体活動の習慣化を促します。	スポーツ少年団 スポーツ振興課 総合型地域スポーツクラブ	楽しみながら積極的に体を動かし身体活動の習慣化を促す。 ACP(アクティブチャイルドプログラム)の実施(参加者数:50人)	子どもたちの体力や運動能力の向上、運動習慣等の確立を図る。	ACP(アクティブチャイルドプログラム)未実施	E	令和6年度に実施したことから、令和7年度は他の事業(健康体操等)を行った。	総合型地域スポーツクラブで開催を検討する。(令和6年度に三重県と連携し実施した。)	楽しみながら積極的に体を動かし身体活動の習慣化を促す。 ACP(アクティブチャイルドプログラム)の実施(参加者数:50人)
20	【再掲】 スポーツ少年団運営事業(青少年スポーツ活動育成事業) 【概要】 少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさに触れることで、スポーツ活動を通じた子どもたちの健全育成を図ります。	スポーツ少年団	少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさに触れることで、スポーツ活動を通じた子どもたちの健全育成を図る。 【スポーツ少年団】 ・各単位団における日々のスポーツ活動(34団・710人) ・本部長杯種目大会の開催(3回・500人) ・駅伝大会やスポ少大会などの合同大会の開催(3回 800人) ・県、東海大会への参加(7回) ・加入案内パンフレットの作成(4,000部) ・団活動をしていない子どもも参加できる事業の検討・実施(1事業) 【スポーツ振興課】 ・スタートコーチ情報提供及び養成講習会の開催(4回) ・人権(ハラスメント)講習会の開催(1回)	【スポーツ少年団】 体力向上や単位団同士の交流、スポーツをするきっかけが提供できる。 【伊賀市】 指導者の資質の向上を図り、指導力の強化が行える	【スポーツ少年団】 ・単位団数(31団・団員数707人) ・本部長杯種目別大会の開催(3回:369人) 軟式野球(6団:111人) サッカー(9団:139人) バレーボール(中学4団:29人・小学8団:90人) ・合同大会の開催(3回:803人) スポ少大会(18団:223人) 駅伝大会(23団:470人) 交流会(10団:110人) ・県、東海大会への参加(12回) ・加入案内パンフレットの作成(4,000部) ・団活動をしていない子供たちも参加できる事業(1事業) 【スポーツ振興課】 ・スタートコーチ情報提供及び養成講習会の開催(5回) ・人権講習会の開催(1回)	B		【スポーツ少年団】 団数が33団から31団へ減ったが、団員数は少し増加した。スポーツ少年団活動に興味、関心をもってもらえる取り組みを引き続き推進するとともに、定住自立圏内への参加を呼びかける。また、子どもたちのスポーツをするきっかけづくりとして、団活動をしていない子どもも参加できるような事業を継続して検討する。 【スポーツ振興課】 指導者の資質向上のため、研修会等を継続して開催する。	少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさに触れることで、スポーツ活動を通じた子どもたちの健全育成を図る。 【スポーツ少年団】 ・各単位団における日々のスポーツ活動(32団・730人) ・本部長杯種目大会の開催(3回・500人) ・駅伝大会やスポ少大会などの合同大会の開催(3回 800人) ・県、東海大会への参加(10回) ・加入案内パンフレットの作成(4,000部) ・団活動をしていない子どもも参加できる事業の検討・実施(1事業) 【スポーツ振興課】 ・スタートコーチ情報提供及び養成講習会の開催(5回) ・人権(ハラスメント)講習会の開催(1回)
21	【再掲】 レクリエーションスポーツの普及(スポーツ推進委員活動事業) スポーツ教室開催事業(レクリエーション協会) 【概要】 レクリエーション協会などと連携し、子どもが気軽に参加でき、家庭で楽しめるレクリエーションの普及を行います。	スポーツ推進委員 住民自治協議会 スポーツ振興課 レクリエーション協会	レクリエーション協会などと連携し、子どもが気軽に参加でき、家庭で楽しめるレクリエーションの普及を行う。 【スポーツ推進委員活動事業】 ・自治協議会のスポーツ部会等への参画 ・地域行事での実技指導(派遣事業)(25回/年 50人) ・実技研修会の開催(3回/年) ・三重県及びび市主催の実技、リーダー研修会(参加者数:20人) ・レクリエーション協会などと共同した体験会の開催(2回) 【スポーツ教室開催事業】(レクリエーション協会) ・ニュースポーツ講習会(3回) ・県スポーツフェスティバルへの参画(1回) ・県レクリエーションインストラクター養成講座への参加(1回)	【スポーツ推進委員活動事業】 身近な環境で気軽にスポーツを楽しめる環境を提供できる 【スポーツ教室開催事業】 気軽にレクリエーション種目を楽しむことができる。	【スポーツ推進委員活動事業】 ・地域行事での実技指導(派遣事業)(37回 派遣人数74人) ・実技研修会への参加(3回/年・50人) (ビーチボールバレー・ポッチャ、モルック・カラーリング、ボルダグ体験) ・【県】実技、リーダー研修会への参加(15人) ・レクリエーション協会連携事業の開催(1回)(モルック) 【スポーツ教室開催事業】(レクリエーション協会) ・ニュースポーツ講習会 ポッチャ教室(6月・9月・3月) モルック(12月) SSピンポン教室(3月) ・第1回忍ninモルック伊賀大会開催(3月) 共催:布引モルック愛好会すまいる ・県スポーツフェスティバルへの参画 ウォークラリー(11月) ・福祉レク 導入時の手遊び・ゲームセミナー(7月)	A		派遣事業の充実を図り、情報発信を強化する。 また、様々な種目に対応できるよう、実技研修会等を実施し、各委員のスキルの向上を図る。 スポーツ推進委員の活動や認知度向上ため、継続した情報発信を行う。 障がいのある人を対象にニュースポーツ教室に実施。	レクリエーション協会などと連携し、子どもが気軽に参加でき、家庭で楽しめるレクリエーションの普及を行う。 【スポーツ推進委員活動事業】 ・自治協議会のスポーツ部会等への参画 ・地域行事での実技指導(派遣事業)(40回/年・80人) ・実技研修会の開催(3回/年) ・三重県主催の実技研修会、リーダー研修会(参加者数:20人) ・レクリエーション協会などと連携した体験会の開催(2回) 【スポーツ教室開催事業】(レクリエーション協会) ・ニュースポーツ講習会(3回) ・県スポーツフェスティバルへの参画(1回) ・県レクリエーション協会関連事業の開催(1回以上)
22	【再掲】 総合型地域スポーツクラブの運営(スポーツ教室開催事業)(クラブ運営への助言) 【概要】 地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催します。	総合型地域スポーツクラブ スポーツ振興課	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催する。 【総合型地域スポーツクラブ】 ・各クラブでの教室開催(6団体 延べ3,000人) ・ブロック別ミーティングへの参加(10人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加(10人) ・クラブ協議会の開催(3回) ・クラブ認知度の向上のためのインセティブの検討 ・新規クラブ発足に向けた取組の検討	【総合型地域スポーツクラブ】 地域の身近な環境でスポーツを実施できる。 【スポーツ振興課】 訪問を通じて県内の他クラブの運営ノウハウなどを提供し、クラブ運営の強化を図る。	【総合型地域スポーツクラブ】 ・教室開催(6団体: 延べ3,939人) 神戸(3B体操スロートレーニング教室 19回・延べ229人) フューチャーズ(ノルディックウォーキング20回・延べ235人) (ノルディックウォーキング体験会2回・52人) 府中(健康体操・3B体操 143回・延べ2,270人) 大山田(親子カヌー教室 1回・延べ28人) ヨガセラピー教室 11回・延べ517人 姿勢改善エクササイズ教室 4回・延べ84人 ピラティス教室 4回・延べ76人) どんぐり(ダンス&ダブルタッチ 36回・延べ216人) いがまち(スロートレーニング 36回・延べ232人) ・ブロック別ミーティングへの参加(5人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(3団体・年1回) ・連絡協議会の開催(2回/年) ・各団体のスポーツ教室を市HPで紹介	A		【総合型地域スポーツクラブ】 クラブの認知度向上を図り、活動への参加者を増やす。 また運営を行うスタッフが不足しているクラブが多いことから指導者の育成等を行い、組織の強化を図る。 【スポーツ振興課】 クラブの認知度を高めるため、継続した情報発信の強化や、他地域のクラブの運営ノウハウを情報提供するなど、各クラブの適切な運営に努める。 また、新規クラブの発足に向けた取組を検討する。	地域住民のスポーツ活動を推進するため、世代横断型のスポーツ教室等を開催する。 【総合型地域スポーツクラブ】 ・各クラブでの教室開催(6団体 延べ4,000人) ・ブロック別ミーティングへの参加(7人) 【スポーツ振興課】 ・各クラブ訪問の実施(年1回) ・ブロック別ミーティングへの参加(7人) ・クラブ協議会の開催(3回) ・クラブ認知度の向上のためのインセティブの検討 ・新規クラブ発足に向けた取組の検討

2 基本目標 スポーツを「みる」スポーツ活動の普及・啓発

成果目標:スポーツ観戦に関心がある人の割合(目標:90% R7実績:76.1%)

【施策3】みるスポーツの推進

①スポーツチーム等との連携

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A~G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
23	伊賀FCノーマトリックとの連携 (伊賀FCノーマトリックに関する 情報提供) (伊賀フットボールクラブ助 成事業) 【概要】 地元で活動する「伊賀FCノーマトリック」の試合や市民交流イベントなどの情報を提供し、市民にスポーツを身近に感じてもらえる機会の提供に努めます。	スポーツ振興課 株式会社伊賀FCノーマトリック 特定非営利活動法人伊賀FCノーマトリック	地元で活動する「伊賀FCノーマトリック」の試合や市民交流イベントなどの情報を提供し、市民にスポーツを身近に感じてもらえる機会の提供に努める。 【スポーツ振興課】 HPやSNS等の媒体を活用したチーム情報の発信(随時) 【(株)伊賀FCノーマトリック】 ・なでしこリーグ(優勝) ・新たなファンの獲得(会員数 800人目標) 【NPO法人伊賀FCノーマトリック】 ・ジュニアサッカー育成 サテライト育成(250回) ジュニア育成(200回) サッカースクール(60回) ・保育園訪問(巡回スクール) 市内保育園(所)・幼稚園35園 各1回巡回 ・夢教室(伊賀市内及び三重県内 小学校 10回) ・親子サッカー教室(乳児と母親)新事業 ・地域貢献事業(60回) いじめ防止強化月間啓発活動 確定申告早期提出期限内納付 PR活動・三重県人権啓発PR活動 乳がん啓発活動・三重県 サイバーセキュリティ啓発活動 赤い羽根共同募金活動 地域安全活動(交通安全含む) 伊賀市内老人ホーム慰問	ホームが一体となったチーム運営を目指す 女子サッカーの普及と、伊賀ブランドイメージアップ	【スポーツ振興課】 HPやSNS等の媒体を活用したチーム情報の発信(随時発信) 【(株)伊賀FCノーマトリック】 ・なでしこリーグ(2位) ・新たなファンの獲得(現在の会員数 315人) 【NPO法人伊賀FCノーマトリック】 ・ジュニアサッカー育成 サテライト育成(240回) ジュニア育成(192回) サッカースクール(44回) ・保育園訪問(巡回スクール) 市内保育園(所)・幼稚園35園 各1回巡回 ・夢教室(伊賀市内 小学校4回) ・地域貢献事業(50回) いじめ防止強化月間啓発活動 確定申告早期提出期限内納付 PR活動・三重県人権啓発PR活動 乳がん啓発活動・三重県 サイバーセキュリティ啓発活動 赤い羽根共同募金活動 地域安全活動 伊賀市内老人ホーム慰問	B		令和8年度は創部50周年の年クラブ魅力あるクラブ、又市民の人々を元気にさせられるようになでしこリーグ優勝を目指す。ホームスタジアムでの試合の集客活動 ファンの獲得についても同様に、魅力あるクラブ作りを目指し、ファンを増やす努力をしたい。 地域貢献活動に関しては、今まで以上に子供達・お年寄りの方に向けて発信出来る事を増やし、また子供達だけではなく、子育て世代の女性にも運動出来る環境を作っていきたい。	地元で活動する「伊賀FCノーマトリック」の試合や市民交流イベントなどの情報を提供し、市民にスポーツを身近に感じてもらえる機会の提供に努める。 【スポーツ振興課】 HPやSNS等の媒体を活用したチーム情報の発信(随時) 【(株)伊賀FCノーマトリック】 ・なでしこリーグ(優勝) ・ホームスタジアム集客(1試合1,000名目標) ・新たなファンの獲得(会員数800人目標) 【NPO法人伊賀FCノーマトリック】 ・ジュニアサッカー育成 サテライト育成(250回) ジュニア育成(200回) サッカースクール(60回) ・保育園訪問(巡回スクール) 市内保育園(所)・幼稚園35園 各1回巡回 ・夢教室(伊賀市内及び三重県内 小学校 10回) ・親子サッカー教室(乳児と母親)新事業 ・子育て世代の親子イベント(ヨガ体験(母親)・運動(子ども)) ・地域貢献事業(70回) いじめ防止強化月間啓発活動 確定申告早期提出期限内納付 PR活動・三重県人権啓発PR活動 乳がん啓発活動・三重県 サイバーセキュリティ啓発活動 赤い羽根共同募金活動 地域安全活動(交通安全含む) 地域安全活動(子ども見守り活動) 伊賀市内老人ホーム慰問

②スポーツを活用した地域の魅力発信や誘客

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A~G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
24	スポーツイベントなどの発信 (全国大会等出場者奨励事業) 【概要】 様々な媒体を活用し、市内(全国)におけるスポーツイベントや全国大会出場者などスポーツ選手などの紹介を通じて、スポーツへの関心を高められるよう広報を行います。	スポーツ振興課 各実施主体	様々な媒体を活用し、市内(全国)におけるスポーツイベントや全国大会出場者などスポーツ選手などの紹介を通じて、スポーツへの関心を高められるよう広報を行う。 【伊賀市】 ・全国大会出場者の表敬訪問(50回) ・優秀成績者のHP等への掲載(25回) ・広報へのコラム連載(6回) ・スポーツへの関心を高めるため、HP、SNS等への掲載(40回) ・スポーツイベントの開催周知(6回) 【スポーツ協会】 ・スポーツ広報誌『忍び』の発行(年2回) 【総合型スポーツクラブ】 ・各総合型スポーツクラブによる広報(年4回)	スポーツ行事の参加機会の確保と、関心を高める	【伊賀市】 ・全国大会出場者の表敬訪問(46回) 体操・弓道・ゲートボール・卓球・サッカー・野球・少林寺憲法 バレーボール・水泳・陸上・バスケ・BMX・ヨット 他 ・優秀成績者HP掲載(42回) 各種全国大会結果など ・広報へのコラム連載(6回) スポーツの力 ・HP、SNS等への掲載(29回) 各種全国大会出場など ・スポーツイベントの開催周知(5回) シティマラソン・スポーツフェスティバル・伊賀地区駅伝 競走大会・ロードレース大会・美し国市町駅伝大会 【スポーツ協会】 ・スポーツ広報誌「スポーツ忍」の発行(年2回) 【総合型スポーツクラブ】 ・伊賀フューチャーズクラブ広報誌発行(年4回)	A		市のFacebookやHP、広報誌を活用した情報発信を継続して実施し、スポーツへの関心を高める。 ・スポーツ協会や総合型スポーツクラブの広報誌発行を継続し、各団体の認知度向上や市民のスポーツへ関心度を高める。 ・見てもらえる、読んでもらえる情報となるよう更なる工夫を行う。	様々な媒体を活用し、市内(全国)におけるスポーツイベントや全国大会出場者などスポーツ選手などの紹介を通じて、スポーツへの関心を高められるよう広報を行う。 【伊賀市】 ・全国大会出場者の表敬訪問(50回) ・優秀成績者のHP等への掲載(45回) ・広報へのコラム連載(6回) ・スポーツへの関心を高めるため、HP、SNS等への掲載(40回) ・スポーツイベントの開催周知(6回) 【スポーツ協会】 ・スポーツ広報誌『忍び』の発行(年2回) 【総合型スポーツクラブ】 ・各総合型スポーツクラブによる広報(年4回)

【施策4】地域活性化やふれあい機会の醸成

地域スポーツの推進

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A～G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
25	スポーツ推進委員運営事業 (スポーツ推進委員活動事業) 【概要】 市民へのスポーツの実技指導や地域スポーツに関する指導助言を行います。また、スポーツ推進委員に対する研修の充実を図ります。	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	市民へのスポーツの実技指導や地域スポーツに関する指導助言を行う。また、スポーツ推進委員に対する研修の充実を図る。 ・三重県及び市主催の実技、リーダー研修会(参加者数:60人) ・レクリエーション協会などと共同した体験会の開催(2回)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しめる環境を提供できる	・地域行事での実技指導〔派遣事業〕(36回 派遣人数73人) ・実技研修会への参加(3回/年・50人) (ビーチボールバレー・ポッチャ、モルック・カローリング、ボルダグ体験) ・実技、リーダー研修会への参加(10人) ・レクリエーション協会連携事業の開催(1回)(モルック)	A		派遣事業の充実を図り、情報発信を強化する。 また、様々な種目に対応できるように、実技研修会等を実施し、各委員のスキルの向上を図る。 スポーツ推進委員の活動や認知度向上ため、継続した情報発信を行う。	市民へのスポーツの実技指導や地域スポーツに関する指導助言を行う。また、スポーツ推進委員に対する研修の充実を図る。 ・地域行事での実技指導〔派遣事業〕(40回・75人) ・三重県及び市主催の実技、リーダー研修会(参加者数:60人) ・レクリエーション協会などと共同した体験会の開催(2回)
26	地域でのスポーツ行事の開催 (スポーツ推進委員活動事業) (スポーツ教室開催事業) 【概要】 各地域での運動会や体験会を通じて市民へのスポーツ活動の関心を深め、体を動かすことで体力向上や親睦を深める交流を行います。	住民自治協議会 区(自治会) スポーツ推進委員	各地域での運動会や体験会を通じて市民へのスポーツ活動の関心を深め、体を動かすことで体力向上や親睦を深める交流を行う。 ・自治協議会のスポーツ部会等への参画 ・地域行事での実技指導〔派遣事業〕(20回/40名) ・実技研修会の開催(4回/年)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しめる環境を提供できる	・自治協議会のスポーツ部会への参画(未実施) ・地域行事での実技指導 スポーツ推進委員派遣事業(36回 派遣人数73名) ・実技研修会の開催(4回) 市研修会(3回)・県研修会(1回)	A		実技研修会を充実し、各委員のスキルの向上を図る。	各地域での運動会や体験会を通じて市民へのスポーツ活動の関心を深め、体を動かすことで体力向上や親睦を深める交流を行う。 ・自治協議会のスポーツ部会等への参画 ・地域行事での実技指導〔派遣事業〕(40回・75名) ・実技研修会の開催(4回/年)
27	学校体育施設開放事業 【概要】 小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域や団体に開放します。施設を有効活用し、スポーツの場を提供することで地域スポーツの活性化を図ります。	学校教育課 スポーツ振興課	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域や団体に開放する。施設を有効活用し、スポーツの場を提供することで地域スポーツの活性化を図る。 登録団体に学校施設を開放する(通年) ・小学校(17校) 登録団体数120団体 延べ利用回数8,500回 延べ利用者数235,000人 登録団体数95団体 延べ利用回数5,500回 延べ利用者数105,000人 ・中学校(10校)	身近な環境で気軽にスポーツを楽しめる環境を提供できる	学校施設の開放(利用者総数:311,721人) 小学校(17校) 登録団体数 121団体 延べ利用回数:8,373回 延べ利用者数:209,257人 中学校(10校) 登録団体数 97団体 延べ利用回数:6,047回 延べ利用者数:102,464人	A		登録団体数が増加しているが、利用者数は令和6年度から少し減少した。 学校施設の開放は、無償であることもあり、安定して需要がある。	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域や団体に開放する。施設を有効活用し、スポーツの場を提供することで地域スポーツの活性化を図る。 登録団体に学校施設を開放する(通年) ・小学校(17校) 登録団体数130団体 延べ利用回数8,500回 延べ利用者数215,000人 登録団体数100団体 延べ利用回数6,500回 延べ利用者数110,000人 ・中学校(10校)

3 基本目標 スポーツを「ささえる」 スポーツ環境の体制整備・施設最適化

成果目標:スポーツ施設の平均稼働率(目標:55.15% R7実績:53.57 %)

【施策5】競技スポーツの支援・連携

トップ選手の競技力向上とスポーツ協会との連携

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A~G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
28	<p>全国大会出場者支援事業 ・スポーツ振興事業 ・社会体育振興事業委託 ・伊賀市スポーツ協会運営補助</p> <p>【概要】 全国大会へ出場する選手を称揚し、激励金の交付や表彰状の付与を行い選手の競技意欲の向上を図ります。また、懸垂幕の掲出やパブリックビューイングなど、応援する場の設置を行います。</p>	<p>スポーツ振興課 スポーツ協会</p>	<p>全国大会へ出場する選手を称揚し、激励金の交付や表彰状の付与を行い選手の競技意欲の向上を図る。また、懸垂幕の掲出やパブリックビューイングなど、応援する場の設置を行う。</p> <p>【伊賀市】 ・全国大会出場者を称え、スポーツに対する関心を高める 全国大会等出場表敬訪問(25回) 奨励金交付(個人:25人・団体:15団体) 懸垂幕掲出(3回)</p> <p>【スポーツ協会】 ・優秀選手等の表彰 18件(個人: 6人・団体: 12団体) ・全国大会出場者派遣費助成 15件(個人:5人・団体:10団体)</p>	<p>全国大会出場者を支援することで、スポーツへの関心を高める。</p>	<p>【伊賀市】 ・全国大会等の出場者表敬訪問(46回) ・奨励金の交付(個人:50人・団体:17団体) ・懸垂幕の掲出(1回) 伊賀白鳳高校弓道部出場(12月)</p> <p>【スポーツ協会】 ・優秀選手等の表彰 35件(個人: 12人・団体: 23団体) ・全国大会出場者派遣費助成 28件(個人:14人・団体:14団体)</p>	A		<p>全国大会等出場者への支援を継続して実施する。</p>	<p>全国大会へ出場する選手を称揚し、激励金の交付や表彰状の付与を行い選手の競技意欲の向上を図る。また、懸垂幕の掲出やパブリックビューイングなど、応援する場の設置を行う。</p> <p>【伊賀市】 ・全国大会出場者を称え、スポーツに対する関心を高める 全国大会等出場表敬訪問(45回) 奨励金交付(個人:50人・団体:15団体) 懸垂幕掲出(3回)</p> <p>【スポーツ協会】 ・優秀選手等の表彰 30件(個人: 10人・団体: 20団体) ・全国大会出場者派遣費助成 30件(個人:15人・団体:15団体)</p>
29	<p>スポーツ協会運営支援事業 ・社会体育振興事業委託 ・伊賀市スポーツ協会運営補助</p> <p>【概要】 競技種目の技術力向上を図るため、各種目協会及び団体が所属するスポーツ協会への支援を行います。</p>	<p>スポーツ振興課 スポーツ協会</p>	<p>競技種目の技術力向上を図るため、各種目協会及び団体が所属するスポーツ協会への支援を行う。</p> <p>【伊賀市】 ・スポーツ協会の運営を支援するとともに、競技力の向上を図る 伊賀市スポーツ協会運営補助金(3,425,000円) 伊賀市社会体育振興事業業務委託(5,233,000円)</p> <p>【スポーツ協会】 ・種目団体の競技力向上 組織強化費の交付(24種目協会・1地域団体) 機関紙発行【スポーツ忍】(年2回・全戸配布)</p>	<p>加盟団体を支援することにより スポーツの底辺が支えられることにつながる。</p>	<p>【伊賀市】 ・スポーツ協会運営支援 伊賀市スポーツ協会運営補助金(3,425,000円) 伊賀市社会体育振興事業業務委託(5,233,000円)</p> <p>【スポーツ協会】 ・種目団体の競技力向上 組織強化費の交付(24種目協会・2地域団体) 機関紙発行【スポーツ忍】(年2回・全戸配布)</p>	A		<p>加盟団体への支援を継続して実施する。</p>	<p>競技種目の技術力向上を図るため、各種目協会及び団体が所属するスポーツ協会への支援を行う。</p> <p>【伊賀市】 ・スポーツ協会への支援を継続し、競技力の向上を図る 伊賀市社会体育振興事業業務委託(5,332,000円)</p> <p>【スポーツ協会】 ・種目団体の競技力向上 組織強化費の交付(24種目協会・1地域団体) 機関紙発行【スポーツ忍】(年2回・全戸配布)</p>

【施策6】指導者・ボランティアの人材育成と団体の自主財源の確保

①スポーツ指導者・ボランティアの育成と発掘

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A~G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
30	指導者の育成 社会体育振興事業委託 【概要】 各団体が自主的に指導者協議会などを活用し、専門性を確保しつつ後継の指導者を育成します。	指導者協議会 スポーツ協会 スポーツ少年団 総合型地域スポーツクラブ スポーツ振興課	各団体が自主的に指導者協議会などを活用し、専門性を確保しつつ後継の指導者を育成する。 各団体において研修会や講習会の開催 【スポーツ指導者協議会】 ・スポーツ指導者研修会 45名 【スポーツ協会】 ・加盟団体の講習会 10種目団体 600人(18回) 【総合型スポーツクラブ】 ・登録、認証制度加入 5団体	研修会等が開催されることにより指導者の育成につなげることができる。	各団体の研修会や講習会の開催 【スポーツ指導者協議会】 ・スポーツ指導者研修会 14名 【スポーツ協会】 ・加盟団体の講習会 7種目団体 460人(18回) 【総合型スポーツクラブ】 ・登録、認証制度加入 4団体	B		加盟するすべての団体で指導者育成の講習会開催を目指す。	団体が自主的に専門性を確保しつつ後継の指導者を育成する。 (指導者協議会:解散) 各団体において研修会や講習会の開催 【スポーツ協会】 ・加盟団体の講習会 8種目団体 500人(20回) 【総合型スポーツクラブ】 ・登録、認証制度加入 6団体
31	指導者のスキル向上 社会体育振興事業委託 【概要】 総合型スポーツクラブの認証制度への移行などにより、各団体が自主的に競技種目の指導者スキル向上を行います。 ※認証制度とは、総合型地域スポーツクラブ全国協議会が定める登録基準を具備していると認められる登録クラブを認証すること。	スポーツ協会 スポーツ少年団 総合型地域スポーツクラブ スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブの認証制度の導入などにより、各団体が自主的に競技種目の指導者スキル向上を行う。 ※認証制度とは、総合型地域スポーツクラブ全国協議会が定める登録基準を具備していると認められる登録クラブを認証すること。 各団体において研修会や講習会の開催 【スポーツ協会】 ・加盟団体の講習会 10種目団体 600人(18回) 【スポーツ少年団】 ・スタートコーチ養成講習会 3回 【総合型スポーツクラブ】 ・登録、認証制度加入 5団体	研修会等が開催されることにより指導者の育成につなげることができる。	各団体の研修会や講習会の開催 【スポーツ協会】 ・加盟団体の講習会 7種目団体 460人(18回) 【スポーツ少年団】 ・スタートコーチ養成講習会 4回 【総合型スポーツクラブ】 ・登録、認証制度加入 4団体	B		加盟するすべての団体で指導者育成の講習会開催を目指す。	総合型地域スポーツクラブの認証制度の導入などにより、各団体が自主的に競技種目の指導者スキル向上を行う。 ※認証制度とは、総合型地域スポーツクラブ全国協議会が定める登録基準を具備していると認められる登録クラブを認証すること。 各団体において研修会や講習会の開催 【スポーツ協会】 ・加盟団体の講習会 8種目団体 500人(20回) 【スポーツ少年団】 ・スタートコーチ養成講習会 5回 【総合型スポーツクラブ】 ・登録、認証制度加入 6団体
32	ボランティアの募集 スポーツ振興事業 【概要】 スポーツイベント開催時に出場者募集と併せてボランティア募集を行ない、円滑なイベント実施と「ささえる」ことでのやりがいを育みます。	各実行委員会 スポーツ協会 スポーツ振興課	スポーツイベント開催時に出場者募集と併せてボランティア募集を行ない、円滑なイベント実施と「ささえる」ことでのやりがいを育む。 【伊賀市】 スポーツボランティア活用の制度化 【スポーツ協会】 スポーツボランティア活用の制度化	参加することでスポーツへの理解が進むとともに、運営側の負担軽減にも資する。	【伊賀市】 ・ボランティア活用制度 シティマラソンボランティアスタッフ(23人) 【スポーツ協会】 ・実績なし	D	・シティマラソンにおいて、大会ボランティア及び三重県スポーツ協会(スポーツ応援隊)と連携したボランティアを募集した。市のスポーツボランティア制度の構築には至っていない。	・シティマラソンでの継続したボランティア募集を行う。 ・また伊賀市スポーツ協会と連携した市内のスポーツ全般におけるスポーツボランティア制度の構築に向け検討する。制度構築後のボランティアの活動・活用についても検討する。	スポーツイベント開催時に出場者募集と併せてボランティア募集を行ない、円滑なイベント実施と「ささえる」ことでのやりがいを育む。 【伊賀市】 スポーツボランティア活用の制度化 【スポーツ協会】 スポーツボランティア活用の制度化

②既存イベントの運営見直し

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A~G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
33	各種イベントの見直し スポーツ振興事業 【概要】 各実行委員会、スポーツ協会等とイベントの見直しについて検討します。	各実行委員会 スポーツ振興課	各実行委員会、スポーツ協会等とイベントの見直しについて検討する。 ・在り方も含め、継続的に協議を行う。 ・受け皿となりうる団体の組織強化を図る。	スポーツ事業の活性化	各種イベントについて、各実行委員会において大会の反省、見直しを行い次年度大会の改善策を検討した。 各実行委員会の事務局の在り方についての検討は進んでいない。 【大会実績】 伊賀上野シティマラソン(2,125人)※エントリー:2,444人 伊賀市民スポーツフェスティバル(641人)※エントリー1,008人 伊賀地区駅伝競走大会(77チーム・539人)	D	各事業のあるべき姿を明確化し、各団体との役割分担を考慮し、事業の見直しを行うとともに受け皿となる団体を検討する。	継続して課題の明確化、あるべき姿についての協議が必要	各実行委員会、スポーツ協会等とイベントの見直しについて検討する。 ・在り方も含め、継続的に協議を行う。 ・受け皿となりうる団体の組織強化を図る。
34	各団体の安定的・自立型運営 スポーツ振興事業 【概要】 事務局の在り方等を含め各団体と協議します。	各団体 スポーツ振興課	事務局の在り方等を含め各団体との協議を継続する。 ・在り方も含め、継続的に協議を行う。	スポーツ事業の活性化	市が事務局を運営する実行委員会等の事務移管を含めた運営体制についての検討は進んでいない。	D	各団体が自立できるような組織の強化が必要	継続して課題の明確化、あるべき姿についての協議が必要	事務局の在り方等を含め各団体との協議を継続する。 ・在り方も含め、継続的に協議を行う。

【施策7】スポーツ施設整備と利便性の向上

①スポーツ施設の充実(計画的な施設改修・整備)

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A~G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
35	スポーツ施設整備事業 体育施設整備事業 【概要】 伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき老朽化が進む施設の改修や類似施設の統廃合、多機能化を行い競技環境の向上を図ります。また、新たなスポーツニーズ(アーバンスポーツ等)にも対応した施設の整備に向け取り組めます。	スポーツ振興課	伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき老朽化が進む施設の改修や類似施設の統廃合、多機能化を行い競技環境の向上を図る。また、新たなスポーツニーズ(アーバンスポーツ等)にも対応した施設の整備に向け取り組む。 ・伊賀市民体育館・すばーく阿山・大山田B&G海洋センター 阿山B&G海洋センターのLED化 ・上野運動公園競技場加圧ポンプ更新工事 ・阿山B&G海洋センター体育館合併浄化槽制御盤更新工事 ・上野運動公園競技場天然芝段差解消工事 ・市民体育館ギャラリー暗幕修繕工事 ・アーバンスポーツ環境整備・備品購入	安全な競技環境の整備が図られる。	伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき老朽化が進む施設の修繕、改修を行った。 伊賀市民体育館ほか3施設照明設備賃貸(LED化)※10年リース 27,456,000円 阿山B&G海洋センター合併浄化槽制御盤更新 1,430,000円 上野運動公園競技場加圧給水ポンプ更新 4,675,000円 大山田東体育館電気改修工事 1,023,000円 上野運動公園競技場内天然芝段差解消工事 3,410,000円 伊賀市民体育館ギャラリー暗幕修繕工事 4,915,900円 阿山B&G海洋センター1階ロビー床貼替工事 704,000円 上野運動公園競技場出入口防砂ネット修繕 1,243,000円 上野運動公園取水ポンプ修繕 405,900円 大山田東体育館消防点検不良改修工事 165,000円	A		伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき、財源にも配慮しながら継続して長寿命化を行う。	伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき老朽化が進む施設の改修や類似施設の統廃合、多機能化を行い競技環境の向上を図る。 ・大山田B&G海洋センタープール塗装修繕工事 ・上野運動公園野球場スコアボード設備直流電源交換
36	施設維持管理事業 体育施設維持管理事業(指定管理事業) 市直営施設維持管理事業 【概要】 日常の管理や予約受付等を行ない、安全で快適な競技環境を提供します。	スポーツ振興課 各指定管理者	日常の管理や予約受付等を行い、安全で快適な競技環境を提供する。 利用者の利便性の向上を図りつつ施設の適切な維持管理を行うため、指定管理者に業務を委託する。 利用者総数:400,000人 指定管理料総額:170,267千円 ・伊賀市体育施設、しらすぎ運動公園 上野運動公園多目的広場 ・いがまちスポーツセンター ・大山田東体育館、グラウンド ・プール、艇庫を除く施設稼働率	指定管理者による維持管理で修繕管理などが迅速に行えとともに、自主事業の開催などでスポーツ実施の機会が確保できる。	・以下の施設を指定管理者へ委託 (利用者総数:362,737人、指定管理料総額:165,228,800円) ※伊賀市体育施設(公益財団法人伊賀市文化都市協会) (利用者総数:332,271人、指定管理料総額136,361,050円) ※しらすぎ運動公園(公益財団法人伊賀市文化都市協会) (利用者総数:23,168人、指定管理料総額16,705,700円) ※いがまちスポーツセンター(公益財団法人伊賀市文化都市協会) (利用者総数:7,298人、指定管理料:12,162,050円) ※プール、艇庫を除く施設稼働率(稼働日÷365日) 53.57%	A		利用者が安全・快適に利用できるよう日々の維持管理を継続的に行うとともに、自主事業の実施によるスポーツ振興、さらには利用者数の増加を図る。	日常の管理や予約受付等を行い、安全で快適な競技環境を提供する。 利用者の利便性の向上を図りつつ施設の適切な維持管理を行うため、指定管理者に業務を委託する。 利用者総数:400,000人 指定管理料総額:179,742千円 ・伊賀市体育施設 ・しらすぎ運動公園 ・いがまちスポーツセンター ※プール、艇庫を除く施設稼働率
37	学校体育施設開放事業 【再掲】 【概要】 小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域や団体に開放する。施設を有効活用し、スポーツの場を提供することで地域スポーツの活性化を図ります	学校教育課 スポーツ振興課	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域や団体に開放する。施設を有効活用し、スポーツの場を提供することで地域スポーツの活性化を図る。 登録団体に学校施設を開放する(通年) ・小学校(17校) 登録団体数120団体 延べ利用回数8,500回 延べ利用者数235,000人 ・中学校(10校) 登録団体数95団体 延べ利用回数5,500回 延べ利用者数105,000人	身近な環境で気軽にスポーツを楽しめる環境を提供できる	学校施設の開放(利用者総数:311,721人) 小学校(17校) 登録団体数 121団体 延べ利用回数:8,373回 延べ利用者数:209,257人 中学校(10校) 登録団体数 97団体 延べ利用回数:6,047回 延べ利用者数:102,464人	A		登録団体数が増加しているが、利用者数は令和6年度から少し減少した。 学校施設の開放は、無償であることもあり、安定して需要がある。	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域や団体に開放する。施設を有効活用し、スポーツの場を提供することで地域スポーツの活性化を図る。 登録団体に学校施設を開放する(通年) ・小学校(17校) 登録団体数130団体 延べ利用回数8,500回 延べ利用者数215,000人 ・中学校(10校) 登録団体数100団体 延べ利用回数6,500回 延べ利用者数110,000人

②利便性のある実施環境の提供

通番	事業名	担当課 関係団体	令和7年度 取組計画・目標数値(方針)	見込まれる効果	令和7年度 実績	評価 (A~G)	評価がC、D、Eの場合の補足説明	次年度への課題	令和8年度 取組計画・目標数値(方針)
38	施設利用の利便性の向上 体育施設整備事業 【概要】 SNSを活用した予約システムの導入を検討するとともに、施設案内などの情報を充実させ利用者の利便性の向上を目指します。 またバリアフリー環境の充実を施設改修に併せ実施する等使いやすい環境を整えます。	スポーツ振興課 各指定管理者	予約システムの導入を検討するとともに、施設案内などの情報を充実させ利用者の利便性の向上を目指す。またバリアフリー環境の充実を施設改修に併せ実施する等使いやすい環境を整える。 ・アーバンスポーツ環境整備・備品購入	安全・快適な競技環境の整備が図られる。	伊賀市アーバンスポーツパーク屋外照明設備設置工事 2,061,400円 伊賀市アーバンスポーツパーク単管パイプバリアード設置 99,000円 伊賀市民体育館卓球台購入 154,880円	A		伊賀市スポーツ施設再編・整備計画に基づき、財源にも配慮しながら継続して長寿命化を行う。また予約システムの導入検討も進める。	予約システムの導入を検討するとともに、施設案内などの情報を充実させ利用者の利便性の向上を目指す。